

# 取り付けと接続

## NVX-DV1

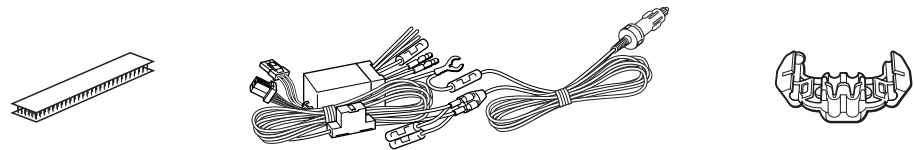
Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



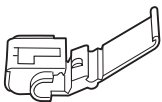
### 付属部品の確認

#### ナビ本体

- ① マジックテープ(50cm)\*
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクタ(赤)



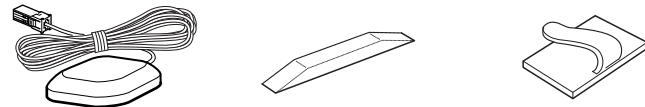
- ④ 圧着式コネクタ(ピンク)×2



\*マジックテープは、①と④の作業に必要な分だけ切って使います。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

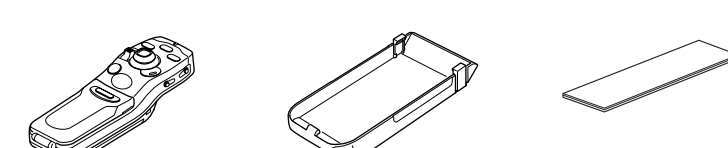
#### GPSアンテナ

- ⑤ GPSアンテナ
- ⑥ クッション
- ⑦ コードクランパー×5 (リモコン受光部用含む)



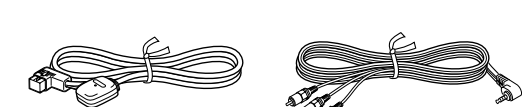
#### リモコン

- ⑧ ナビシステム用
- ⑨ リモコンホルダー
- ⑩ 両面テープ



#### 他社モニター接続

- ⑪ リモコン受光部
- ⑫ A/Vケーブル



### ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

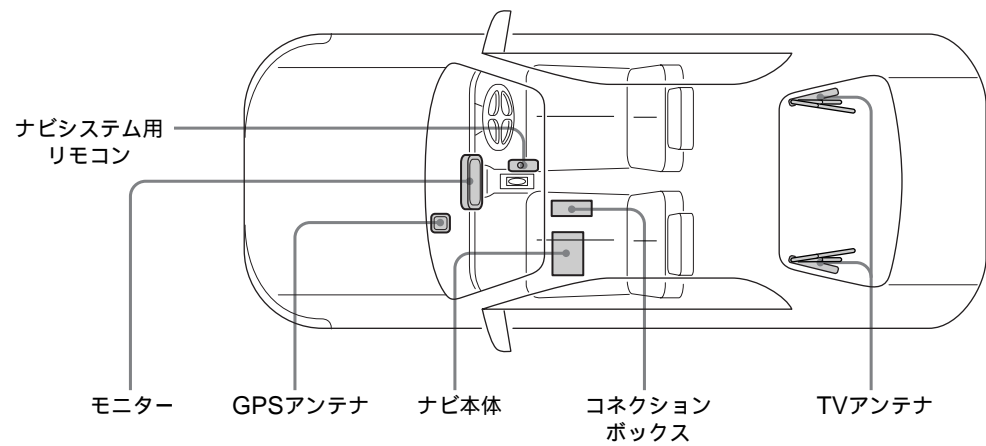
- ①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
- ②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間  
お手元のFAXで  
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

### 取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

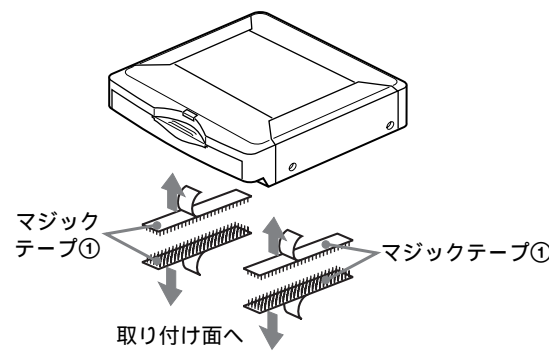
### 1 ナビ本体を取り付ける

#### ●●● ご注意

- マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- 横置き位置で水平5°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - ー高温になる場所
  - ー直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

#### マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける

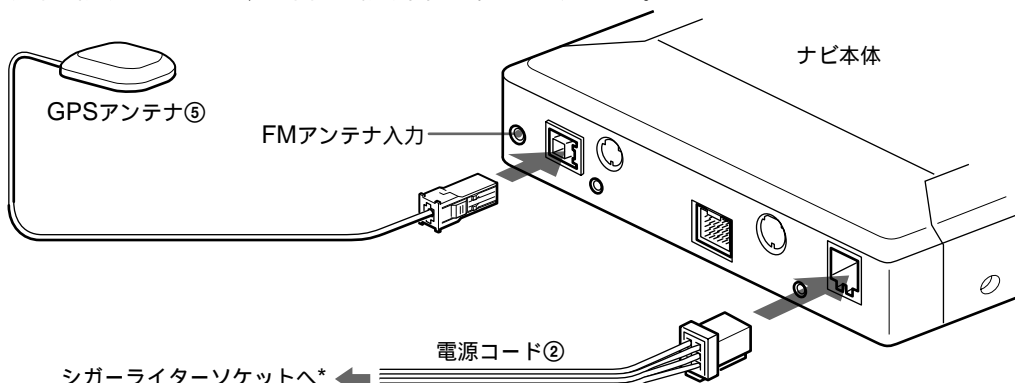
マジックテープは中央部の銘板を避けて貼り付けてください。



マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

### 2 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



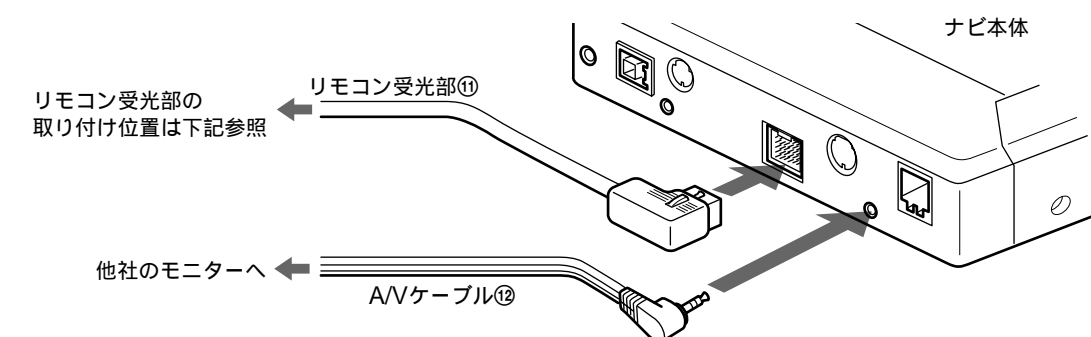
\* 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。

#### ●●● ご注意

別売りの簡易車速パルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの自動車位置の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータの車速パルスと接続する必要がありません。

### 3 お手持ちの車載モニターと接続する

他社のモニターのみを接続する場合は、付属のリモコン受光部⑩が必要です。



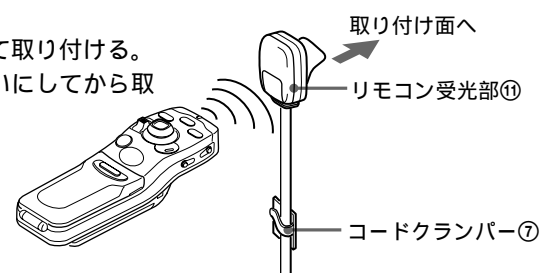
#### 取り付け位置のポイント

リモコンをホルダーからはずしてお使いになるときに、リモコン受光部にリモコンを向けて操作できる位置に取り付けてください。

はくり紙をはがして取り付ける。取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

#### ●●● ご注意

別売りのソニーモバイルカラーテレビを接続する場合、リモコンの操作はモニター受光部に向けて行いますので、リモコン受光部は不要です。



取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにコードクランパー⑦で固定してください。

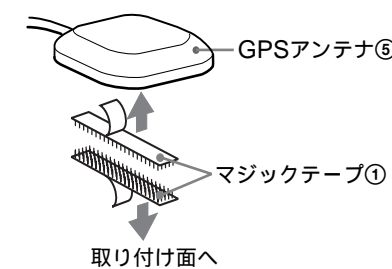
### 4 GPSアンテナを取り付ける

#### ●●● ご注意

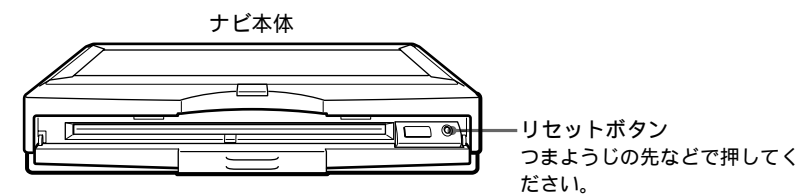
- 一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付け受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

#### マジックテープ①を必要な分だけ切り、GPSアンテナ⑤を取り付ける



### 5 車のエンジンをかけて、リセットボタンを押す



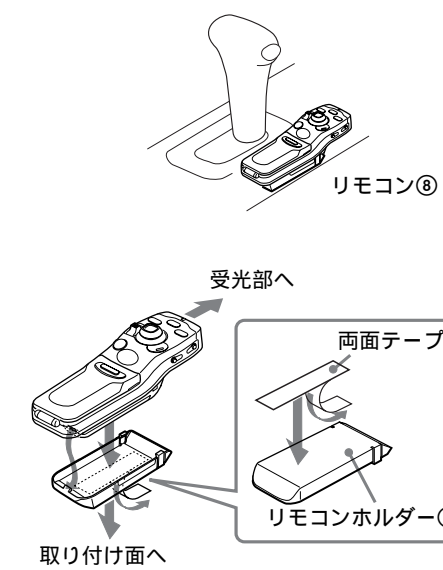
### 6 リモコンを取り付ける

#### ●●● ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - ーシフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
  - ー運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
  - ーダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変型するおそれのあるところ。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

#### 両面テープ⑩で、リモコンと受光部が向き合うように取り付ける

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。



両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

### 取り付けが終わったら

コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

#### ●●● ご注意

- ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。





# 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



**警告** 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や大けがの原因となります。

**禁止** 本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

**禁止** 前方の視界を妨げる場所に取り付けられない。前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

**禁止** 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け。動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。

**禁止** 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け。運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになると、事故や感電、火災の原因となります。

**禁止** 分解や改造をしない。火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切ると、他の機器の電源を取ると、リード線の電流量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**禁止** 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けられない。上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

**注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**禁止** 安定した場所に取り付ける。振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

**禁止** 付属の部品で正しく取り付け。他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく。イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

**禁止** バイブ類、タンク、電気配線などを傷つけない。火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、バイブ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

**禁止** ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を傷つけない。車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

**禁止** 分解や改造をしない。火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切ると、他の機器の電源を取ると、リード線の電流量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**禁止** 規定容量のヒューズを使う。ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のもをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**禁止** 本機の通風口や放熱板をふさがない。フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

## GPSアンテナの取り付けについて

### ● ご注意

- 取り付けるときは、ボディを傷つけないように静かに置いてください。
- コードを車外でたるませたまにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランプ①をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよびナビ本体の故障の原因となります。
- アルミやFRPボディの車に取り付ける場合、アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

### ● ちょっと一言

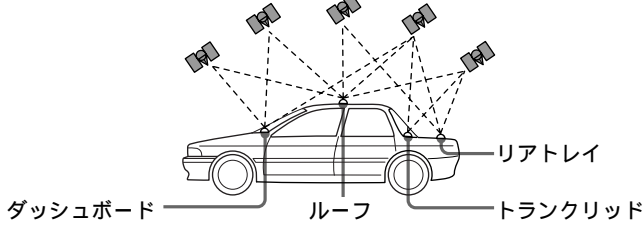
GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選び、できるだけ広く電波を受けられるように取り付けてください。車内に遮る場所がない場合は、車外に取り付けてください。

### ● ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

### 車外に取り付ける場合

GPSアンテナ⑨は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。



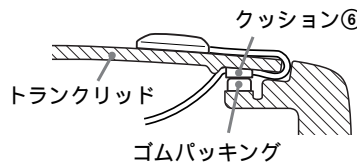
### 1 トランクリッドなどの上に取り付ける

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



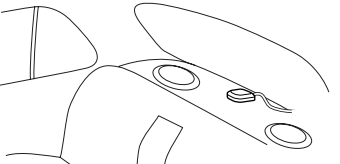
### 2 トランクリッドの裏側にクッション⑩を取り付ける

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開けたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑩が当たるように取り付けてください。



### 車内に取り付ける場合

リアトレイやダッシュボードに取り付けます。平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。取り付けかたについて詳しくは、裏面の「[4] GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。



## 接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。取り付ける車両のくわしい資料については、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表面左下参照)をご利用することもできます。

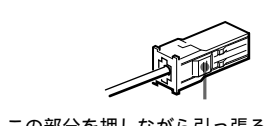
### ● ご注意

作業中のショート事故防止のため、電源コードのシガープラグ(または赤色コードと黄色コード)の接続は必ず最後に行ってください。

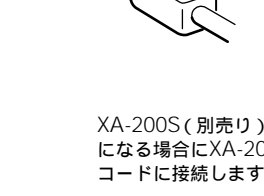
ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

### コネクタの外しかた



この部分を押しながら引っ張る。



XA-200S(別売り)をお使いになる場合にXA-200Sの白色コードに接続します。(他には使用不可)

### ● ご注意

1 イグニッションスイッチにアクセラリ(ACC)電源へ接続しない車には取り付けられません。

2 緑色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。

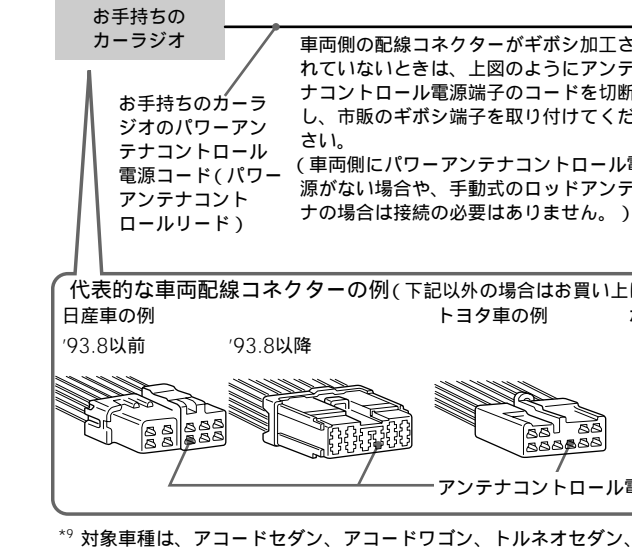
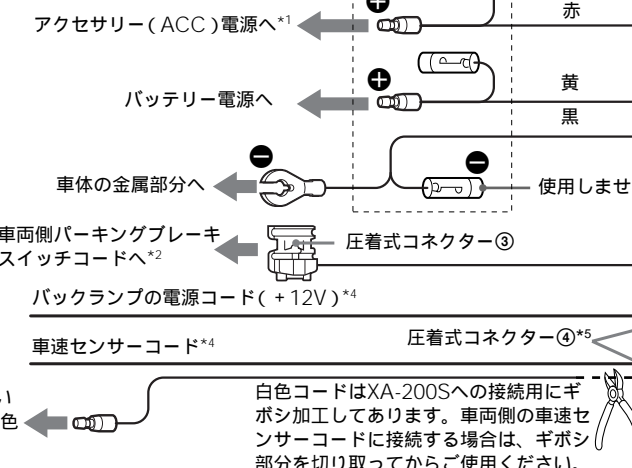
3 保護素子は絶対に向きを逆に取り付けられないでください。

4 必ず車両側車速センサーコード、バックランプの電源コードに接続してください。また車速センサーコード、バックランプの電源コードについては、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表面左下参照)をお使いになるか、お買い上げ店にご相談ください。

5 圧着式コネクタは保護素子より車側の位置で接続してください。

- ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る可能性があります。
- TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。
- 車のキーがOFFの位置でシガーソケットの電源が切れない車種には、シガープラグコードを使用できません。

付属のシガープラグは、この部分を押しながら引っ張る。



\*9 対象車種は、アコードセダン、アコードワゴン、トルネオセダン、CR-V、オデッセイ、シビックRです。(1998年1月現在)

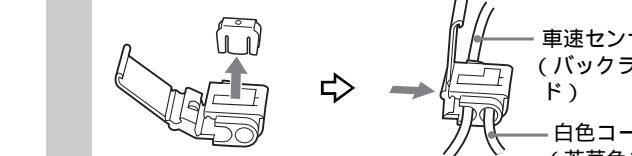
## 車速センサーコード/バックランプの電源コードの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源コードを接続しておくことと車両後退時の誤差が生じません。

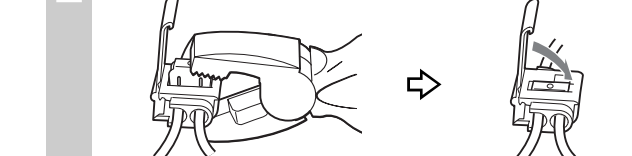
### 圧着式コネクタ(ピンク)の使いかた

(バックランプの電源ケーブルの取り付けかたも同様です)

## 1 圧着式コネクタ④から、金具を取りはずし、センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクタにとおす



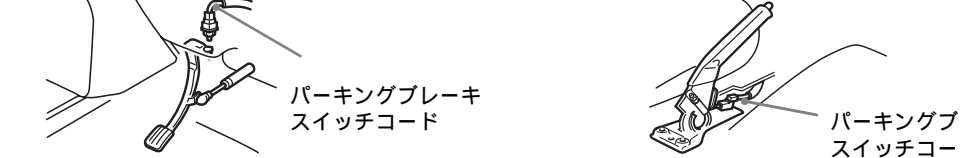
## 2 手順1ではずした金具を取り付け、ふたをする



## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

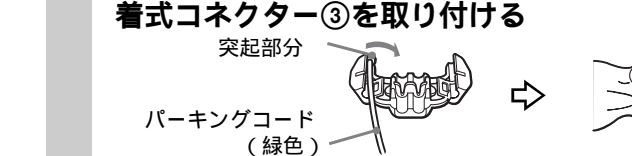
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合      パーキングブレーキがハンドブレーキの場合

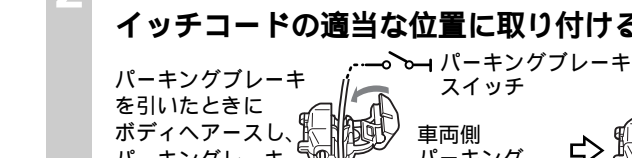


### 圧着式コネクタ(赤)の使いかた

## 1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ③を取り付ける

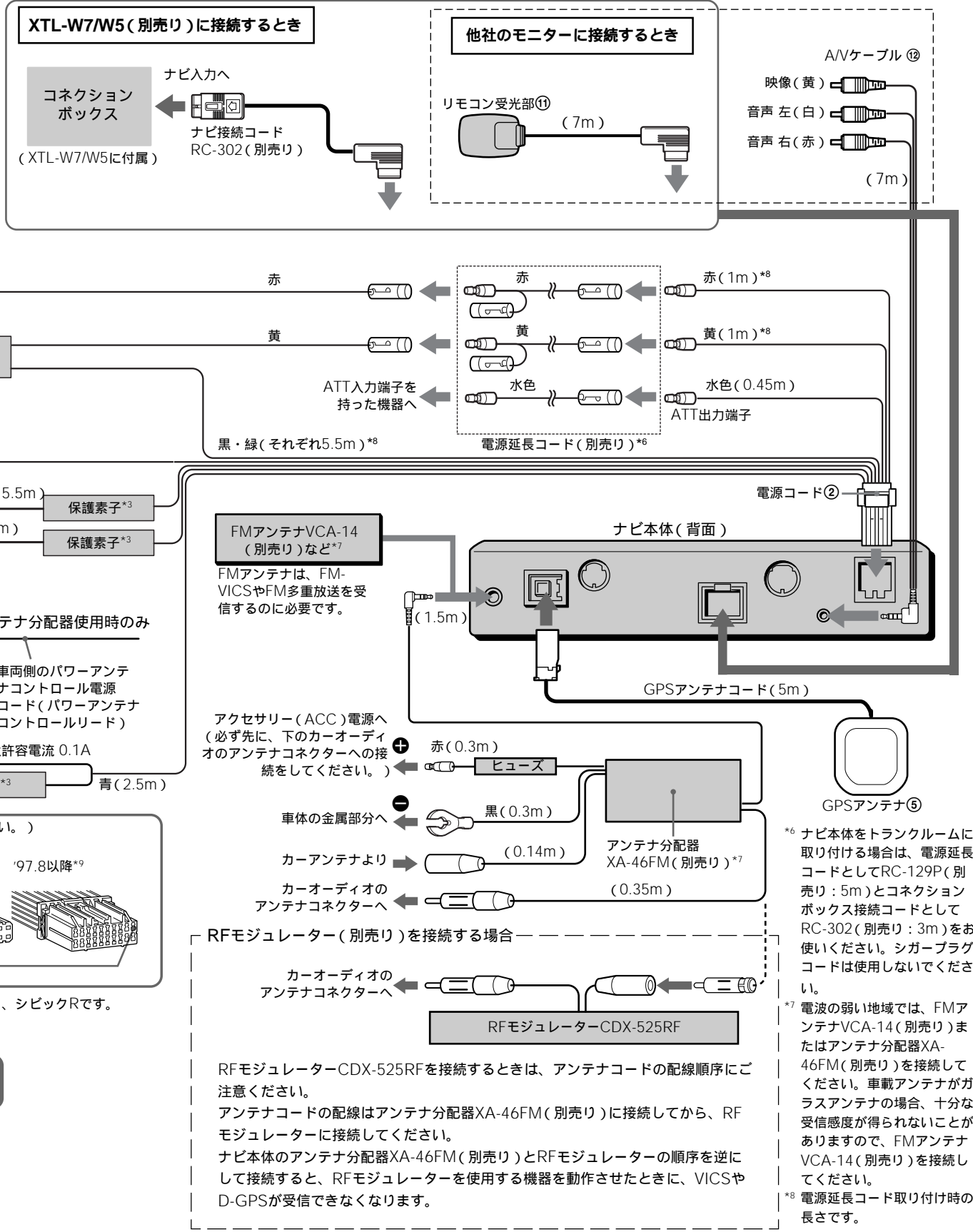


## 2 圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける



### ● ご注意

車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。



## ナビ機能をよりよく活用するためのコード

水色コード(ATT出力端子)	ソニー製カーオーディオでATT入力端子のあるセットに接続すると、ナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。
青色コード(アンテナリモート端子)	XA-46FMなどの別売りアンテナ分配器でFM-VICSのアンテナ入力にカーラジオのアンテナを利用する場合に接続します。車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や手動式のロッドアンテナの場合は、接続する必要はありません。
若草色コード(バックランプ電源コード用接続用)	バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすることができます。
白色コード(車速センサーコード接続用)	車速センサーコードに接続すると、GPS衛星からの電波が正しく受信できないときでも自律センサーの働きによって正しい自車位置を把握することができます。

## 別売り機器との接続について

### ● ご注意

- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- ビーコンユニットとしてNVA-VB1(別売り)を使うこともできます。そのとき、接続には接続コードRC-131(別売り)をお使いください。
- PDCインターネットユニットの接続は、リモコン受光部⑩を接続した後に行ってください。

